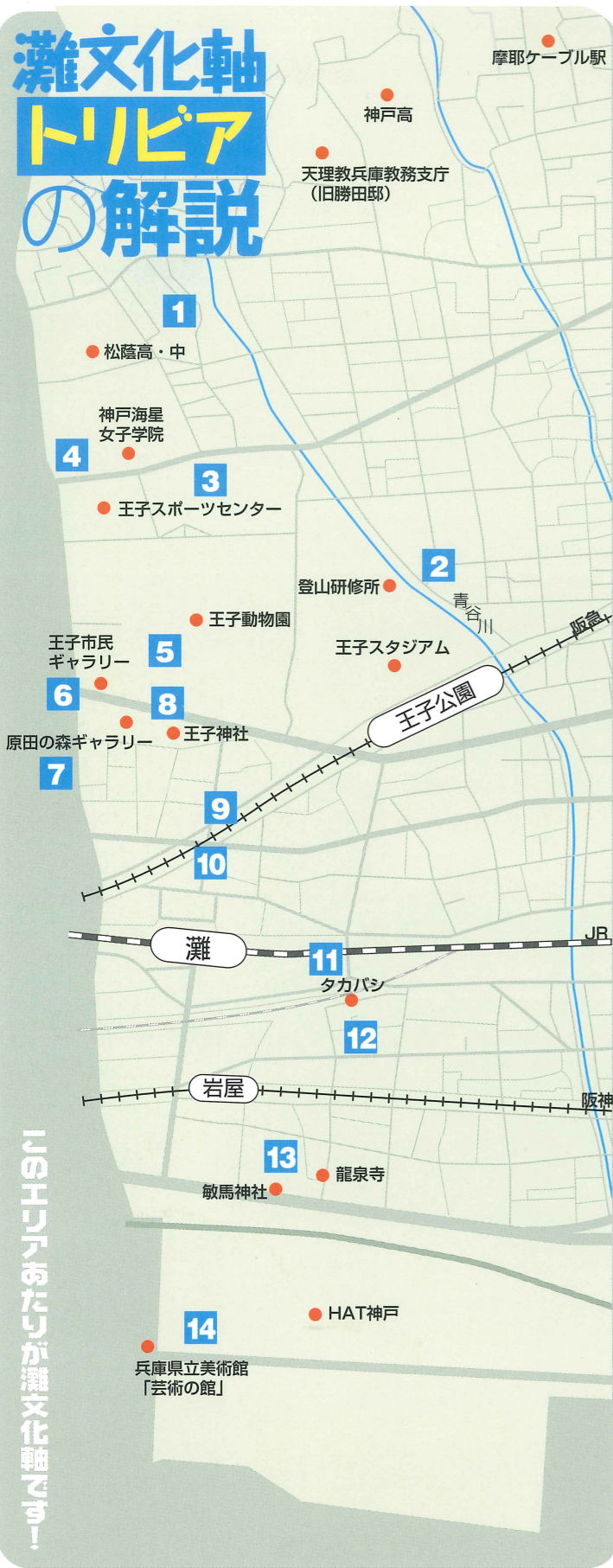


灘文化軸 トリビア の解説



ISHIノアあたりが灘文化軸です！

1 青谷には…馬がたくさんいた

脇浜（中央区）で設立された神戸乗馬倶楽部は昭和5年に青谷町に移転、昭和11年のロス五輪優勝馬ウラヌス号も青谷で訓練をつみました。平成5年に神戸市北区しあわせの村にある馬事公園に移転しました。

2 青谷川沿いには…黄緑色からピンク色に変わる桜がある

青谷川沿いの歩道に植えられた「うこんの桜」は薄黄緑色（うこん色）の花びらをつけます。そして花の終わり頃には薄いピンク色に変化します。花の時期もソメイヨシノなどに比べて遅く、4月下旬頃が見ごろです。

3 王子公園は…かなりのスポーツ天国だった

王子公園にはアメリカンフットボールやサッカーが行われるスタジアム、テニスコート、体育館、プール、弓道場、すもう場、登山研修所などの施設が点在し、神戸のスポーツのメッカともいえる場所なのです。

4 マリア様は…実は52才だった（2004年3月現在）

灘のまちを見守る神戸海星女子学院のマリア像は昭和27年生まれ。今年で満52才になります。ちなみに「海星」とはキリストの母・聖母マリアの別名であり、荒海を越えて旅する船の導き手として表現されています。

5 王子動物園には…関学があった

現在王子市民ギャラリーとして使用されている建物は元々関西学院のチャペルとして建設されたものです。隣に神戸高商（現神戸大学）もあり、書店や喫茶店、カフェが立ち並び、学生の街として賑わっていました。

6 灘区の端に…神戸市の境界がある

灘区が誕生したのは昭和4年。それまでは武庫郡西灘村、六甲村と呼ばれていました。隣の区も中央区ではなく葦合区でした。ということで、ここにある石碑は昭和4年までここが神戸市の境界線だったというしるしです。

7 区境の公園は…延焼防止のためだった

原田の森ギャラリーの西側にある中央区との区境の沿道には公園や緑地、学校が集中しています。これは、火災の延焼をここで止めるためにつくられた「緑帯」とよばれるものです。

8 王子町界隈は…森だった

昔このあたりは「原田の森」と呼ばれていました。夏は^{あま}時雨が絶えず、バツヤやキリギリス、カブト虫がわんさかいたそう。今でも原田の森ギャラリーの敷地内に不思議な虫がいます。見つけてください。

9 動物園周辺にも…動物がたくさんいた

動物園周辺の歩道、花壇、お店、広場などをよく観察すると、たくさんの動物たちが隠れていますよ。散策がてら探してみてください。

10 高架下には…不思議がたくさんあった

阪急の高架は三宮への乗り入れが始まった昭和11年頃に建設されたものです。まちのゲートのような「阪急高架橋」。見なれた風景ですが、実は構造的にもユニークな珍しい橋で、よく観察すると石造風の装飾も施されています。

11 高橋の本名は…灘橋だった

通称「灘のタカバシ」といわれるJR神戸線をまたぐ陸橋。実は「灘橋」というのが正式な名称です。明治38年に架けられた元祖タカバシはこの陸橋の南の旧臨港線にかかる小さな橋です。

12 タカバシの下を…ヨーロッパへ旅立つ特急が走った

平成15年秋に廃止された旧臨港線は、昔ポートレインという神戸港から出航する欧州航路のお客さんを選ぶ特急列車も走っていた、ロマンチックな路線なのです。

13 敏馬神社は…大昔岬だった

敏馬神社の本殿のある高台は千年程前、海に突き出した「敏馬崎」という岬でした。今の国道はかつての西国浜街道。昭和の初めには海水浴場やボートハウスがありました。

14 HAT神戸は…アート系ニュータウンだった

新しい県立美術館「芸術の館」は安藤忠雄氏が設計。街角にもさまざまなファニチャーアートが設置されています。以前ここにあった工場の部品を使った作品もあります。

なだ だな

灘のまちを知るための
情報誌

2004. 3
Vol.
13

編集 灘区民まちづくり会議
発行 企画運営委員会
灘区役所

灘文化軸

第3回
灘のまち探検隊が行く
トリビア
ウォーク

灘区ホームページ「i-nada」

<http://www.city.kobe.jp/nada/>

なだ だな

編集 灘区民まちづくり会議
企画運営委員会
発行 灘区役所
〒657-8570
灘区役所まちづくり推進課内
(078) 871-5101
※5月6日より
(078) 843-7001

なだだな No.13
2004年3月

さんか
第3火曜は
「ちょっと気配り」参加の日
一ちよつとした気配りで
住みよい灘区を一



神戸市広報印刷物登録
平成15年度第169号-2
(広報印刷物規格D-1類)



この広報紙は、再生紙を
使用しています。

START

TORIVIA 1 青谷には…馬がたくさんいた



今は住宅ですが、昔は…馬場がありました。(出典：『神戸乗馬倶楽部の80年』)

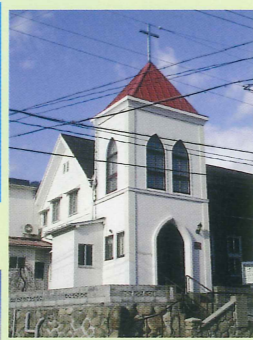
素敵なトンネル小道です。



建物の上に人が…(夢創館) 青谷川公園にはロケットもあります。



「わんぱく広場」はミニアスレチック



かわいらしい灘教会はほっとする風景

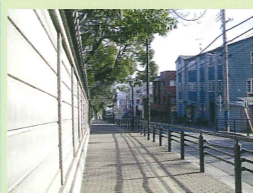
青谷川沿いには…黄緑色からピンク色に変わる桜がある

TORIVIA 2

懐かしいポートピア'81の博覧会グッズがこんなところ。



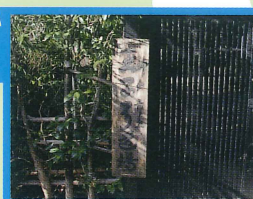
未来へ走り続けるランニングシャツのおじさん。



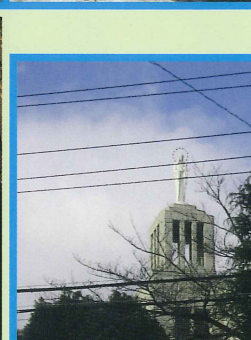
神社みたいな塀

TORIVIA 3

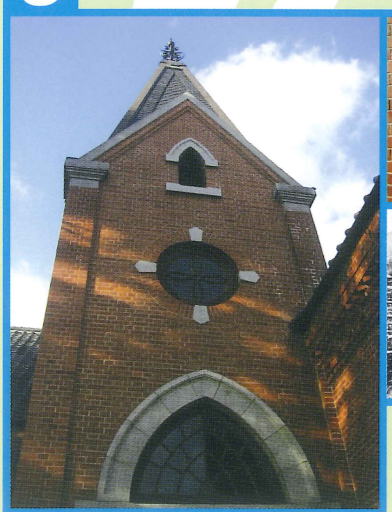
王子公園は…かなりのスポーツ天国だった



ライオンがいました。



TORIVIA 5

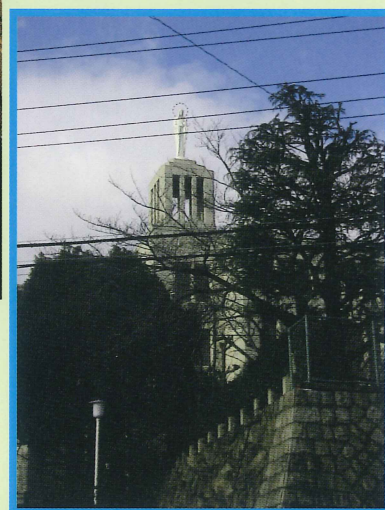


王子動物園には…関学があった

明治35年ごろの動物園界隈の様子 (出典：『なだ〜灘神戸市編入50周年記念誌』)

TORIVIA 4

マリア様は…実は52才だった



灘区の端に…神戸市の境界があった



区境にある大きな木の下に小さな石碑があります。



これが古い石碑

TORIVIA 6

北から南まで公園や学校、テニスコートなどが並んでいます。区境の公園は…延焼防止のためだった



元県立近代美術館、今は原田の森ギャラリー。こんな立派なギャラリーがあるのは灘区だけかも。

灘文化軸

第3回 灘のまち探検隊が行く トリビアウォーク 軸

灘区の西端、山裾から海岸までつながる地域に「灘文化軸」という名前がついていることをご存知ですか？ 灘文化軸にはたくさんの文化施設や史跡、名所が点在しています。そんな灘文化軸を、北から南へ歩いてみると…たくさんのトリビア(雑学・知識)が見つかりました。あなたも明日から人に自慢したくなるはず!?

みめめ 敏馬神社は…大昔岬だった

100年の歴史を誇る臨港線も廃止に



TORIVIA 11

タカバシ高橋の本名は…灘橋だった



高架下には…不思議がたくさんあった

TORIVIA 10



こんなところに水車発見！ ソース工場もあります。

王子町界隈は…森だった

TORIVIA 8

確かに大きい木があるけど…



バイクの形をした虫が…

動物園周辺にも…動物がたくさんいた

TORIVIA 9



パンダがいっぱい ご存知コロちゃん 花壇までパンダ

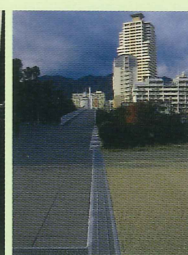


これはカバの茶目です？

GOAL



夕暮れのハーバーウォーク



中央区との境界線！

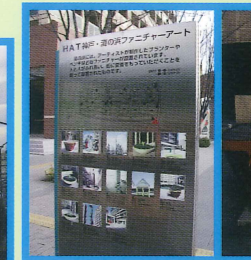
TORIVIA 14 HAT 神戸は…



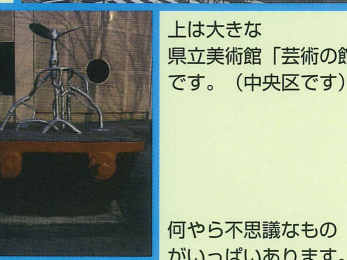
アート系ニュータウンだった



TORIVIA 13



下が「元祖」タカバシです。



上は大きな県立美術館「芸術の館」です。(中央区です)

何やら不思議なものがいっぱいあります。

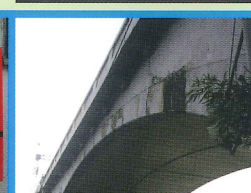
TORIVIA 12

タカバシの下を…ヨーロッパへ旅立つ特急が走った



左は以前「和田市場」という市場でした。

パンダストリート越しの摩耶



石造の門みたいな阪急の高架橋

